

# あったかは一と♡

## 令和4年度 本園の研究について

本園は昨年度までの3年間、夢中になって遊ぶ子どもを育てるための研究をすすめてきた結果、下記のような環境が夢中になって遊ぶ子どもを育てるのだということを確認しました。



そうだとすると、一人でじっくり楽しむ姿は夢中になっていないのでしょうか？

一人でも夢中になっているととらえられ、学びは確かにある。しかし、その学びが他者に受け入れられたり、認められたりする時、自分の「やりたいこと」は更なる価値をもち、次への意欲や遊びの広がり結び付いている。しかし、いつも友達と一緒にさせようとするのがよいということがよいということも違う。一人一人が自分らしく、そこにいることができること、自分のやりたいことに没頭できる環境があること、その上に、自分の生み出した何かが誰かの目にとまり、大好きな大人や友達に受け入れられ認められることが喜べる…そんな安心感を伴う環境でなければならない。

【R3 研究のまとめより引用】

『一人一人が自分らしくいられること』なおかつ『自分のやりたいことに没頭できる環境があること』そのことが、全ての子どもたちの豊かな生活のベースになると考えます。しかし、個性の違いがあることを前提に『自分のやりたいことに没頭できる環境』を得るためには一人一人に合った支援を行う必要があります。



▲個人の違いは視野に入れず、全員に「平等」なものが提供されている



▲個人の違いを考慮しそれぞれに「公平」な機会が提供されている



▲構造的なバリアが取り除かれ、全員が平等かつ公平な機会を保持している

本園で目指す生活は**赤枠**だと考えますが…



←この箱が一体何なのか？

←この網が一体何なのか？

様々な個性をもつ子どもたちに対する支援を明確にすると共に、仲間たちがどのように育ち合っていくのかを実践を通して研究していきたいと考えています。

そこで、本園の研究テーマを

本園の研究テーマ

私もステキ! あの子もステキ!

みんなのステキが輝く☆幼稚園を目指して

～インクルーシブな保育の〈援助の工夫〉と〈教師間の連携〉を探る～

とし、研究を進めることにしました。

教師間の連携は見えるようで目には見えないもの。そこを言語化することで、どの子ども皆輝くための援助が見えてこないか? そうは言っても、1人で子どもたちの前に立つ瞬間が多い先生方の悩みも一緒に考えたい…。そんな思いから、**教師間の連携によって実現できる支援と、担任一人で保育をすすめることが必要な場面においてできる支援の工夫**、その両面を研究していくことにしました。

手稲区を中心に研究通信 **あったかほーと♡** や、合同研、公開保育、札幌市に向けてはホームページなど様々な形で発信していく予定です。よろしくお願いします。